2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科	科目区分	専門分野	授業の方法	実習
科目名	臨床実習 I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (1) 時間(単位)
対象学年	1年生	学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎附属治療所
担当教員	河上修・川村智広・仲村剛・ 岩村一成・澤卓実・林了大 その関連資格				

《授業科目における学習内容》

臨床現場における柔道整復師の役割、医療面接から施術までの知識と技術を習得する

《成績評価の方法と基準》

1.レポート(20%)

2.授業態度と参加度(80%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

柔道整復学・理論編第7版および柔道整復学・実技編第2版

《授業外における学習方法》

シラバスを確認し、事前に内容の予習をすることが望ましい。 範囲・内容が広く多岐にわたるため、内容の詳細を担当教員に質問にくるように。

《履修に当たっての留意点》

臨床現場における柔道整復師の役割を認識し、医療面接から施術までの知識と技術を習得すること

	業の 法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 1 回	実習	授業を 通じての 到達目標	臨床実習の目的・目標の概説説明 身だしなみについて	柔道整復学 理論編 改訂第7 版 実技編 改訂第2 版 (南江堂)	実習後の復習と予習を しておくこと
	百形式	各コマに おける 授業予定	オリエンテーション		
第	実習	授業を 通じての 到達目標	柔道整復師としての倫理を理解する(1)	柔道整復学 理論編 改訂第7 版	実習後の復習と予習を
2	百形式	各コマに おける 授業予定	柔道整復師としての倫理-1	版 実技編 改訂第2 版 (南江堂)	天自後の接首と丁首をしておくこと
第	実習形式	授業を 通じての 到達目標	柔道整復師としての倫理を理解する(2)		実習後の復習と予習を しておくこと
र उ ा		各コマに おける 授業予定	柔道整復師としての倫理-2		
第	実習	授業を 通じての 到達目標	患者との接し方を理解する(1)	柔道整復学 理論編 改訂第7	実習後の復習と予習を しておくこと
R 4 回	習形式	各コマに おける 授業予定	患者との接し方-1		
第 5 回	実習形式	授業を 通じての 到達目標	患者との接し方を理解する(2)	柔道整復学 理論編 改訂第7 版	中期似の佐期1.マ四ナ
		各コマに おける 授業予定	患者との接し方-2	版 実技編 改訂第2 版 (南江堂)	実習後の復習と予習を しておくこと

	業の法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	実習形式	授業を 通じての 到達目標 各コマに おける 授業予定	患者との接し方を理解する(3) 患者との接し方-3	柔道整復学 理論編 改訂第7 版 実技編 改訂第2 版 (南江堂)	実習後の復習と予習を しておくこと
第 7 回	実習形式	授業をの 通じす目標 コマナる お 授業	施術録の作成を実施し内容を理解する(1) 施術録の作成-1	柔道整復学 理論編 改訂第7 版 実技編 改訂第2 版 (南江堂)	実習後の復習と予習を しておくこと
第 8 回	実習形式	授業をの 到達目標 各コマに おけ予定	施術録の作成を実施し内容を理解する(2) 施術録の作成-2	柔道整復学 理論編 改訂第7 版 実技編 改訂第2 版 (南江堂)	実習後の復習と予習を しておくこと
第 9 回	実習形式	授業をの 到達目標 各コマに おけ予定	施術録の作成を実施し内容を理解する(3) 施術録の作成-3	柔道整復学 理論編 改訂第7 版 実技編 改訂第2 版 (南江堂)	実習後の復習と予習を しておくこと
第 10 回	実習形式	授業をの 到達目標 各コマト おけ予定	医学的な清潔の概念と清潔保持の重要性について理解できる 施術所の衛生環境	柔道整復学 理論編 改訂第7 版 実技編 改訂第2 版 (南江堂)	実習後の復習と予習を しておくこと
第 11 回	実習形式	授業をの 到達目標 各コマに おける 授業予定	施術所の現状について学ぶ(1) 業界、施術所の現状-1	柔道整復学 理論編 改訂第7 版 実技編 改訂第2 版 (南江堂)	実習後の復習と予習を しておくこと
第 12 回	実習形式	授業を 通じての 到達目標 各コマに おけ予定	施術所の現状について学ぶ(2) 業界、施術所の現状-2	柔道整復学 理論編 改訂第7 版 実技編 改訂第2 版 (南江堂)	実習後の復習と予習を しておくこと
第 13 回	実習形式	授業を 通じす目標 各コマに おける 授業予定	医療事故・過誤の防止を理解する(1) 医療事故・過誤の防止-1	柔道整復学 理論編 改訂第7 版 実技編 改訂第2 版 (南江堂)	実習後の復習と予習を しておくこと
第 14 回	実習形式	授業を 通じての 到達目標 各コマに おける 授業予定	医療事故・過誤の防止を理解する(2) 医療事故・過誤の防止-2	柔道整復学 理論編 改訂第7 版 実技編 改訂第2 版 (南江堂)	実習後の復習と予習を しておくこと
第 15 回	実習形式	授業を通じての到達目標	患者の状況の的確な把握・鑑別を理解する(1) 患者の状況の的確な把握・鑑別-1	柔道整復学 理論編 改訂第7 版 実技編 改訂第2 版 (南江堂)	実習後の復習と予習を しておくこと

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科	科目区分	専門分野	授業の方法	実習
科目名	臨床実習 I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (1) 時間(単位)
対象学年	1年生	学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎附属治療所
担当教員	河上修・川村智広・仲村剛・ 岩村一成・澤卓実・林了大 実務経験と その関連資材	Ş.			

《授業科目における学習内容》

臨床現場における柔道整復師の役割、医療面接から施術までの知識と技術を習得する

《成績評価の方法と基準》

1.レポート(20%)

2.授業態度と参加度(80%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

柔道整復学・理論編第7版および柔道整復学・実技編第2版

《授業外における学習方法》

シラバスを確認し、事前に内容の予習をすることが望ましい。 範囲・内容が広く多岐にわたるため、内容の詳細を担当教員に質問にくるように。

《履修に当たっての留意点》

臨床実習は実際の患者さんを想定して、卒業後の臨床現場で必要となる知識を付けることを目標としています。実習時間内では不明な点があれば、時間外でも質問を受け付けます。自分で臨床現場に立つことを想定して実習に臨んでいただき、不明な点や自分に足りない知識をぜひ見つけて質問して下さい。

授美	業の 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 16 回	実習	授業を 通じての 到達目標	患者の状況の的確な把握・鑑別を理解する(2)		実習後の復習と予習を しておくこと
	音形式	各コマに おける 授業予定	患者の状況の的確な把握・鑑別-2		
第	第 第 8	授業を 通じての 到達目標	患者の状況の的確な把握・鑑別を理解する(3)		実習後の復習と予習を しておくこと
17 回	百形式	各コマに おける 授業予定	患者の状況の的確な把握・鑑別-3		
第	実習形式	授業を 通じての 到達目標	患者の誘導を理解する(1)	柔道整復学 理論編 改訂第7 版 実技編 改訂第2 版 (南江堂)	実習後の復習と予習を しておくこと
同		各コマに おける 授業予定	患者の誘導-1		
第	第19回 実習形式	授業を 通じての 到達目標	患者の誘導を理解する(2)	柔道整復学理論編 改訂第7	実習後の復習と予習を しておくこと
		各コマに おける 授業予定	患者の誘導-2		
第	実習形式	授業を 通じての 到達目標	接骨院業務を理解する(1)	柔道整復学 理論編 改訂第7 版 実技編 改訂第2 版 (南江堂)	実習後の復習と予習をしておくこと
口		各コマに おける 授業予定	附属治療所補助−1		

	業の 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 21	日田	授業を通じての到達目標	接骨院業務を理解する(2)	柔道整復学 理論編 改訂第7 版 実技編 改訂第2	実習後の復習と予習を
回		授業予定	附属治療所補助−2	版 (南江堂)	しておくこと
第 22	日日	到達目標	接骨院業務を理解する(3)	柔道整復学 理論編 改訂第7 版 実技編 改訂第2 版 (南江堂)	実習後の復習と予習を しておくこと
回		各コマに おける 授業予定	附属治療所補助-3		
第	実習	授業を 通じての 到達目標	振り返り気づきを得る	柔道整復学 理論編 改訂第7 版	実習後の復習と予習を しておくこと
23	形式	各コマに おける 授業予定	附属治療所実習振り返り	実技編 改訂第2 版 (南江堂)	
第	講義実習	授業を 通じての 到達目標			
24	形	各コマに おける 授業予定			
第	講義実習形式	授業を 通じての 到達目標			
25 回		各コマに おける 授業予定			
第	講義実	授業を 通じての 到達目標			
26	天習形式	各コマに おける 授業予定			
第	講義実	授業を 通じての 到達目標			
27 回	習形式	各コマに おける 授業予定			
第	講義実	授業を 通じての 到達目標			
28	ココ	各コマに おける 授業予定			
第	講義実習形式	授業を 通じての 到達目標			
29		各コマに おける 授業予定			
第	講義実	授業を 通じての 到達目標			
30回	美習形式	各コマに おける 授業予定			